

News Release

 日本ジェネリック株式会社

2022年6月17日

日本ジェネリック株式会社

各位

抗悪性腫瘍剤
(チロシンキナーゼインヒビター)
イマチニブメシル酸塩錠
イマチニブ錠100mg「JG」

「効能又は効果」「用法及び用量」追加承認に関するお知らせ

日本ジェネリック株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:三津原庸介)の標記製剤剤に関して、下記のとおり、「効能又は効果」「用法及び用量」の追加が、6月15日付で承認されましたので、ご案内申し上げます。これにより、先発医薬品(グリベック錠100mg)との適応不一致が解消されました。

今後も引き続き、弊社製品をご愛顧賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

【効能又は効果】

○慢性骨髄性白血病 ○KIT(CD117)陽性消化管間質腫瘍 ○フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病

○FIP1L1-PDGFR α 陽性の下記疾患

好酸球増多症候群、慢性好酸球性白血病

【用法及び用量】

〈慢性骨髄性白血病〉

慢性期:通常、成人にはイマチニブとして1日1回400mgを食後に経口投与する。なお、血液所見、年齢・症状により適宜増減するが、1日1回600mgまで増量できる。

移行期又は急性期:通常、成人にはイマチニブとして1日1回600mgを食後に経口投与する。なお、血液所見、年齢・症状により適宜増減するが、1日800mg(400mgを1日2回)まで増量できる。

〈KIT(CD117)陽性消化管間質腫瘍〉

通常、成人にはイマチニブとして1日1回400mgを食後に経口投与する。なお、年齢・症状により適宜減量する。

〈フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病〉

通常、成人にはイマチニブとして1日1回600mgを食後に経口投与する。なお、血液所見、年齢・症状により適宜減量する。

〈FIP1L1-PDGFR α 陽性の好酸球増多症候群又は慢性好酸球性白血病〉

通常、成人にはイマチニブとして1日1回100mgを食後に経口投与する。なお、患者の状態により、適宜増減するが、1日1回400mgまで増量できる。

<備考>このたび、下線部が追加となりました。

【本ニュースリリースのお問い合わせ先】

日本ジェネリック株式会社 お客様相談室

TEL: 0120-893-170

E-Mail: jgweb@nihon-generic.co.jp

※本リリースは本町記者会でも同時に発表しております。

弊社のホームページにも掲載しております。
<https://www.nihon-generic.co.jp/>